

# Quality Management News

《医療の質・安全ニュース》

No. 12 2010/3/吉日



## 阪大病院 みんなのにこにこいろはうた キャンペーン ～患者さんと医療者のパートナーシップ～



### 阪大病院 みんなのにこにこ いろはうた

#### —患者さんと医療者のパートナーシップ—



#### 今いちど 自分の名前を 伝えましょう

病院には、よく似たお名前の方がおられます。点滴や検査の前、薬を受け取る時などにはフルネーム（氏名）を伝え、ネームバンドをお見せください。



#### 廊下は意外にすべります スリッパやめて 夜も安心

スリッパは、院内ではすべりやすく、ケガのもとになります。入院中は履き慣れた、すべりにくい、踵をおおう靴ですこししましょう。



#### 歯は外したら いれ物へ 大事な体の 一部です

入れ歯をなくしてしまうと、とても不便です。検査などではずした時は、すぐに容器にしまいましょう。



#### 二度 三度 たずねることも 遠慮なく 治療の主役は あなたです

すべての治療はあなたを中心にすすみます。病気についてはご自身でも勉強しましょう。わからないことやご希望があるときには遠慮なく病院の職員にお伝えください。



#### ホッとする 相手に話そう 不安な気持ち

不安や悩みを一人で抱え込む必要はありません。家族、友人や病院の職員などに気持ちを伝え、一緒に治療に取り組んでいきましょう。



#### 変だな? と思った時は 確認を くすりは 正しく 飲みましょう

お薬にはたくさんの種類やのみ方があります。初めてのお薬を手にした時や、何か疑問に思った時は、服用する前に確認しましょう。



#### とっても 大切 次の診察 いつですか

退院後はご自身の体調管理が大切になります。これからの診察予定や病院で聞きたいことをノートなどに書き留めておくことをおすすめします。



5月中旬より、「阪大病院 みんなのにこにこいろはうた キャンペーン」がはじまります。これは、医療および医療安全への患者さんの参加を支援し、患者さんと医療者とのパートナーシップ（協働）を築くための全職員での取り組みです。入院患者さんには、左図のようなファイルセットと共に、上の説明用紙をお渡しし、医療者から内容をご説明します。キャンペーン期間中（約半年間）は、バッジの着用を含めて、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



# 電子カルテをより良く使うために



このコーナーでは、電子カルテをより良く使ってもらうための便利な機能をご紹介します。



## 多職種でカンファレンスや回診等を行ったときに、簡単に電子カルテに記載する方法はないの？

経過記録のテンプレートを使うことによって、簡単に入力することができます。  
 テンプレートは、「記事入力」→「テンプレート」→「症例検討」で使用できます。

「記事入力」→「テンプレート」タブ→「症例検討」をクリックすると、入力画面が開きます。

内容を入力し、確定を押すと経過記録に表示されます。

本年（2010年）秋頃、病院機能評価（V6.0）を受審します。  
 その中の、医療の質と安全のための実施項目として、「多職種によるカンファレンス」が挙げられています。  
 また、病歴管理委員会主催の診療記録のオーディット（監査）では、カンファレンスの記載が1週間に1回以上あるかどうかを評価項目としています。  
 多職種で検討し合ったら記録を取り、医療の質を良くしていきましょう！！



<病院機能評価（V6.0）評価項目>  
 5 医療の質と安全のためのケアプロセス  
 5.3 適切なケアサービスの実施  
 5.3.1 基本的な病棟業務が実施されている  
 5.3.1.3 多職種によるケアカンファレンスを実施している  
 ①多職種によりケアの方針などを検討している

<病歴管理委員会主催の診療記録のオーディット（監査）項目>  
 ・カンファレンスの記載が1週間に1回以上あるかどうか  
 0点：記載が全くない又は月に1回の記載  
 1点：月に2回以上の記載  
 2点：週に1回以上の記載